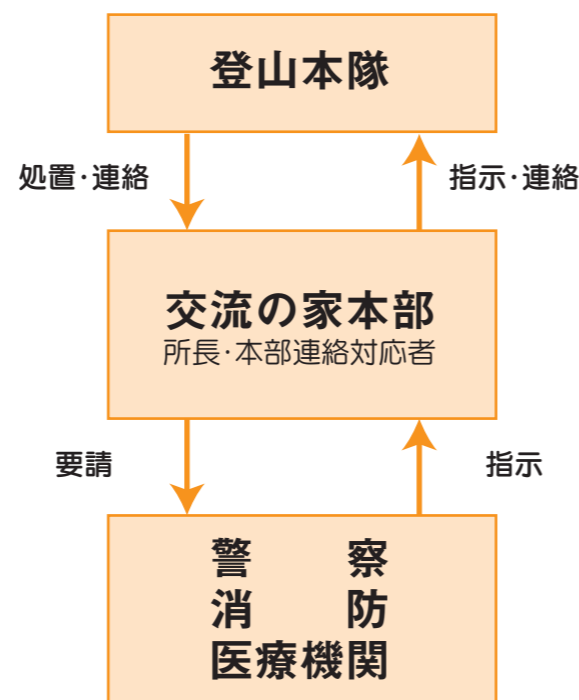


(4) 安全管理・プログラム実施体制・持ち物装備

登山時の安全管理

- ①交流の家の担当職員全員で全山の実踏を行い、想定される危険について共有した。
- ②ボランティアスタッフの事前研修で実踏を行うとともに、登山の安全管理について講義を行った。
- ③参加者の事前キャンプでハイキングを行うとともに、安全な登山の方法について講義を行った。
- ④登山本隊では参加者6名の班につき1名のボランティアスタッフが対応するとともに、最低4名の職員・ボランティアスタッフを隊列の前後および中間に配置した。
- ⑤気象条件ごとの対応を事前に設定し、実施当日の気象情報の収集を行った。
- ⑥緊急対応フローチャート(右図)を設定し、必要な際に参照できるようにした。

緊急対応フローチャート



登山時の服装

- 帽子
- 靴下
- 速乾性Tシャツ
- 登山用の靴
- 長袖シャツ ※日差しや風をさえる用途。着脱しやすいものがよい。
- 長ズボン

登山時の持ち物(指導者)

- FAセット
- 無線機
- エマージェンシーシート
- 携帯電話
- 熊撃退スプレー

登山時の持ち物(参加者)

<参加者持参>

- リュックサック (25~40L)
 - タオル
 - 水筒 (1L程度)
 - ヘッドランプ・電池
 - ハンカチ・ティッシュ
 - 腕時計
 - 筆記用具
 - 虫除け
 - 雨具(合羽)
 - 虫刺され薬
 - 軍手
 - 日焼け止め
- ※○は必要に応じて持参

<配布物>

- 弁当
- コンパス
- 行動食
- 地図
- スポーツドリンク (500mL)

<班装備>

- 水用ポリタンク (2L×2)
- 熊鈴
- 経口補水液 (500mL×4)
- 簡易トイレ
- 塩分補給用飴

(5) 各ステージの内容

【ファースト】出会いのステージ

① ファーストステージのねらい

本キャンプに向けて、新しい仲間と共に協力して取り組んでいこうという意欲をもつ。

7月13日 事前キャンプ

参加者・保護者説明会・仲間作り・かな箸作り・登山講義



2019年7月13日、事前キャンプ当日、参加者が国立赤城青少年交流の家に集まりました。初めて出会う仲間たちと顔を合わせ、不安や緊張を浮かべていた参加者の表情が仲間作り(あかぎアドベンチャープログラム)を行うことで、次第に笑顔が増えていきました。お互いの特徴を知ったことで、これから共に協力して取り組んでいこうという意欲をもつことができました。

【ふりかえりカードから】

<挑>…挑戦 <協>…協力 <発>…発見 <相>…All for One

- <挑> 事前説明会や登山講義などを受けたことで、本キャンプに向けての準備が十二分にできた。(中1男)
- <協> 友達ができるのか不安でしたが、仲間作りなどで関わったことで、たくさんの人と仲良くなった。(小5男)
- <発> 知らない人と一緒に関わることは苦手ですが、仲間が声をかけてくれたので、楽しくできました。仲間のことを知ることができた。(小6男)
- <相> スタッフの方から、積極的に話しかけてくれたり、相談にも乗ってくれたりしたので、とても嬉しかった。(中2女)

7月14日 事前キャンプ

赤城不動大滝散策

前日に、安全管理を含めた登山講義を実施したことで、体調管理や登山中の約束事など、安全第一での登山を心がけている姿が多く見られました。本キャンプに向けて、準備しておかなければいけないことをしっかりと聞き、本キャンプへの期待を胸に事前キャンプを終えることができました。



【ふりかえりカードから】

- <挑> 登山中の危険なところや落石時などに必要な合図の勉強をしたことで、仲間との協力や助け合いが必要であるということがわかった。(小6男)
- <協> 登山中、みんなで「～が危ない！」などと伝言して伝えることができた。(小5男)
- <相> スタッフの方は、できるだけ自分たちで考えられるようにしてくれた。(中2男)

【セカンド】仲間作りのステージ

② セカンドステージのねらい

グループの仲間同士で、お互い励まし合い、支え合いながら登山に取り組もうという意識をもつ。

8月3日 開会式

仲間作り・チーム旗作り・野外炊事・登山講義



本キャンプ、いよいよ開会式が始まりました。事前キャンプの時から比べると、一回りも二回りも成長しているように感じました。また、これから始まる7泊8日への期待と不安が緊張しているようでした。本キャンプの活動班が発表され、同じ班の仲間たちと交流を深めました。チーム旗作りでは、班ごとにデザインを考え、一人一人の思いや班全員の目標などについて書くことができ、お互いのことをより知ることができました。班のメンバーと最初の夕食作り(野外炊事)では、自分たちで役割分担をして準備から片付けまでしっかりと行いました。

【ふりかえりカードから】

- <挑> 年下の子に、野外炊事の方法などについて教えることができた。(中2男)
- <協> チーム旗作りで意見を出し合うことができた。(小6男)
- <発> 事前キャンプで話をしなかった人と話したら、色々な良さに気づくことができた。(中2女)
- <相> たくさん声をかけてくれてとても嬉しかった。(小5女)